

仙台司教区

教区事務所だより



(第 40 号)
昭和56年2月1日

昨年12月21日、教皇ヨハネ・パウロ二世は極東訪問を発表して次のようなメッセージを述べている。

「……………祭壇の栄光にあげられるフィリン最初の福者は、日本の長崎で十五人の宣教師と共に殉教の苦しみを受けた。そこで日本の里脇枢機卿や大司教、司教方のお招きにより、殉教者の足跡をたどるため日本にまいります。日本の教会事情は一九八〇年春のアドリミナの際、日本の司教団から詳しくうかがいました。日程には原爆の恐ろしい破壊を知らされた最初の地、広島も予定されています。人類の歴史の上に決してふたたびくりかえされぬよう、神のあわれみを願いたいと思います。……………後略」

この中に教皇の訪日目的がいろいろと書かれているが、信者教わずか四十万人をそここの日本教会には思いがけない光栄というほかはない。教皇がこの日本にのみなみならぬ関心をお寄せになられているのはどうしてだろう。

教皇の日程は23日午後来日、翌24日まで聖職者のつどい、野外ミサ、若人のつどいなど

教皇の来日を どう受けとめようか

三浦平三神父

を行われ、25日は広島で平和を祈り、25日の午後と26日は長崎で、叙階式、修道女のつどい、野外ミサを行い、26日深夜離日というハイド・スケジュール。仙台教区としては東京での聖職者のつどい、教皇ミサへの司祭、修道者、信徒の参加を中心にして考えているが、出来るだけ多くの教区民が（参加にはそれなりの手続きが必要だが）行事に参加して教皇への敬愛を表明するようになりたい。いづれにせよ、われわれ信徒にとつて、ほんとうにすばらしい出来事である。

さらに、私たちはここで、もうひとつのことについて考えてみたい。いうまでもなく教皇の来日が、私たちの信仰生活とどのようにかわるかという認識、教皇来日の意義の理解である。教皇は、カトリック教会の最高の牧者として日本の教会を訪問し、私たち信者を激励される司牧的機能を第一とされている。私たちがいかにこの教皇の激励にこたえるかは、教皇来日の成否のカギとなるであろう。教皇の来日を私たちは、ただ珍しいお祭りのように考えてはなるまい。たとえ行事や、ジャーナ

リズムのはなやかなはやしたてが目立っても、私たちは福音宣教の立場からこれを受けとめるようにすべきである。教皇は地上におけるキリストの代理人、最高の牧者、私たちが敬愛してやまないパパ様である。教皇来日を機会にますます信仰をかため、福音宣教に働き、教会の発展につとめよう。教皇ヨハネ・パウロ二世は正にそのために日本を訪れる。

教皇様ご訪日 日程予定



- 2月23日(月)東京(15時羽田着)
- ・ 聖職者のつどい
- ・ 信徒代表のつどい
- ・ 司教団との会合
- 2月24日(火)東京
- ・ エキュメニカルのつどい
- ・ 諸宗教代表者のつどい
- ・ 教皇ミサ
- ・ 若人のつどい
- ・ 外交団とのつどい
- 2月25日(水)東京↓広島↓長崎
- ・ 広島平和記念公園で教皇と平和を祈るつどい(平和メッセージ発表)
- ・ 原爆資料館訪問
- ・ 長崎・浦上天主堂で司祭叙階式教皇ミサ
- 2月26日長崎
- ・ 聖職者のつどい
- ・ 教皇ミサ
- ・ 26日聖人記念館訪問
- ・ マキシミリアン・コルベ神父ゆかりの地訪問
- ・ 三ツ山原爆老人ホーム恵の丘を訪問
- ・ 22時発の特別機にて、アンカレッジ経由でローマへ。

顔横の皇教

なんでも知ってやろう!

ローマから教皇様がやってくる。私達にとっては、うそのようなほんとうの話です。ヨハネ・パウロ二世とは、どんな方でしょうか。種々の報道で、すでに御承知の事もあるでしょうが、そのプロフィールをここにまとめてみましょう。

略歴

*一九二〇年5月18日

カロール・ヨゼフ・ヴォイチ

イワは、ポーランドのバドピッツェ

(クラクフ近郊)で軍人カロール・ヴォ

イワと母エミリアの間に生まれる。

*一九二九年、母45歳で死亡。カ

ロール9歳。

*一九四一年、父死亡。

*一九四二年、クラクフ大司教区

神学校入学。第二次世界大戦中

は、学校の閉鎖に伴い化学工場

の石切り場で肉体労働に従事。

*一九四六年11月1日、司祭叙階

ローマ・教皇庁立アンジェリク

ム神学大学に留学。

*一九四八年、ローマで神学博士

号を取得、ポーランドへ帰国。

クラクフ教区で働く。

*一九五八年、教皇ヨハネ23世に

より、クラクフの補佐司教に選ばれる。

*一九六四年、教皇パウロ六世により、ク

ラクフの大司教に任命される。

*一九六七年6月26日、教皇パウロ六世によ

り枢機卿に選ばれる。

*一九七八年10月16日、教皇ヨハネ・パウロ

一世の急死により、第二百六十四代の教皇

に選出される。

教皇着任以来現在まで16か国を訪問、世界の平和のために働いておられます。

教皇職とは?

日本では、一般に「ロ

ーマ法王」と呼ばれてい

ますが、カトリック教会では「教皇」と呼ば

れます。親しみをこめて、「教皇様」、「パ

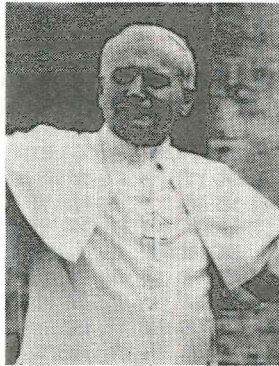
バ様」と呼ぶこともあります。現教皇は、

一九七八年に亡くなったヨハネ・パウロ一世

の名を継ぐと共に、「パウロ六世」「ヨハネ

二十三世」の名をも継いでいるわけで、歴代

の教皇の路線、方向を踏襲する意味があります。



復活の後、使徒達に現われたキリストは、

ペトロを教会の頭として選ばれました。歴代

の教皇は、ペトロの後継者として、全キリスト

者を牧する使命を持っています。現教皇は、

約七億五千万人のカトリック信者の「首長」

であります。具体的な役割として、全世界の司

教を集め、百年に一回位開かれる教会最高の

議決機関「公会議」や、三年に一度開かれる

「世界司教代表者会議(シノドス)」の開催

独自の声明・回勅・教書を発表し、最高牧者

として、信者を指導することなどがあります。

教皇様の趣味

大司教時代は、クリスマ

スの後2週間の年次休暇

を取り、必ずスキーや登山を楽しまれた。

演劇にも関心を持ち、学生時代には舞台上に

立った経験もあり、ラジオドラマを執筆なさ

ったこともある。

語学力

母国語の他、伊・英・仏・ス

ペイン・独・ラテン・ロシア語

の8か国語に精通。

教皇様の性格

無類の子ども好き、貧

しい人、病気の人に対し

て特に愛情深い。

§エピソードの数々§

(その一) ヨハネ・パウロ二世が宗教的行

事を除いて最初に命じたのは、ローマ郊外の

別邸に水泳のプールを作らせることでした。

バチカン当局は、財政難の折、前例がないか

らとの建て前を主張しようとしたところ、す

かさず教皇は言われたそりです。

「コンクラーベより、ずっと安上がりではな

いかね」。御自分が健康を害して、もう一度

コンクラーベをやることを思えば、プール建

設費なんて、安いものというわけです。

(その二) ヨハネ・パウロ二世は就任以来

毎日曜日ローマ市内の教会を巡回します。そ

の際、スーパーマーケットの店員さんに、「パバ

様、私達の結婚式を司式して下さい」とたのま

れたのです。教皇様も気軽に、「OK!」とい

うわけで、バチカン宮殿内のチャペルで、無事

結婚式が行われ、側近をはらはらさせながら

も、一番得をしたのは二人のカップルでした。

＊百周年祝う＊ 大河原教会

カトリック大河原教会(主任・豊田政夫神父)は、昨年12月7日(日)、百数十名の参加のもと、百周年記念祭を盛大に挙行し、記念誌「神とともに」を発行した。この年から百年前の明治13年(一八八〇)に大河原在任の者が、元寺小路教会でプロトラン神父から受洗したのを大河原教会の芽生えとし、これを記念したものである。信者も逐次増加し、明治31年には細淵伝道士を大河原町に常住させたが、35年にはその居宅の二階に大河原天主公会を開設した。明治38年の東北大凶作に当たってジャック神父の農民救済活動の結果、約三百名の集団洗礼があり、ローマにも伝えられた。大正4年には現在地に聖堂が建てられたが、終戦後狭くなり増築、今日に至った。大河原教会出身の聖職者には、上智大学学長であった故大泉孝神父のほか、修道士2人、修道女7人がいるが、現存の方は6人である。

記念ミサは午前11時から、佐藤千敬司教と豊田、首藤両師の共唱ミサで行われ、ラローズ、稲用、本間、高田の各師、7人の修道女のほか、町内の来賓と多数の信者が参列、狭い聖堂は立錫の余地もなかった。

ミサの後、幼稚園の前で参加者全員の記念撮影をし、会場を近くの新築間もない大河原中央公民館ホールに移し、祝賀パーティーが開かれた。実行委員長の開会の辞、豊田師の式辞、佐藤司教の挨拶の後、ラローズ、稲用、本間の元主任司祭に花束が贈呈された。続いて大

河原町長の祝辞の後、大河原教会と縁故の深い三島学園女子大学学長佐藤直助先生の記念講演が行われた。先生は大泉孝神父の思い出や支倉常長が世に知られるようになったいきさつなどをユーモラスに話され感銘を与えた。今回発行された記念誌には、明治時代の教会設立願と内務大臣の許可書、細淵伝道士の宣教届など宮城県図書館で見つけられた珍しい資料がのっている。(大泉計一郎)

人事異動 (一月十日付)

△司教総代理 三浦平三神父

(カトリック新聞社)

△教区書記長 平賀徹夫神父(ローマ留学)

兼司教秘書

なお同日付をもって、元寺小路主任・土井文雄神父の総代理職、教区会計・吉田昌民神父の書記長職の兼任、並びに笹気直哉神父の司教秘書職の任が解かれた。

仙台教区の教会案内発行

かねてから準備中であつた小教区教会の所在地案内図、及び、教会別市町村別索引が、去る12月末に試作品としてできあがり、全国の司教区事務所、仙台教区内の各教会、施設に送られた。転勤、移動、旅行に際しても役に立つものと思われる。又、教会訪問などもこの案内図を片手に活発にされるようになれば、小教区間の連絡もスムーズになる事であろう。個人的に希望される方は、教区事務所まで申し込まれたい。

教皇様の初づくし



- 1 四百五十六年ぶりの非イタリア人教皇
- 2 初のポーランド生まれ共産国出身教皇
- 3 前任の三教皇の名を取った初の教皇
- 4 ジャーナリストの接見で即席で質問に答えた教皇
- 5 「ベトロの座」からポーランド語で説教した初の教皇
- 6 メガネなしで、メッセージを読みあげた初の教皇
- 7 デジタル式腕時計をつけた初の教皇
- 8 スキーヤーであり、登山家であり、カーブ漕手である初の教皇
- 9 ビオ9世以来ミサ中の「イテ・ミサ・エスト」を上手に美声で歌った教皇
- 10 ビオ9世以来初の50歳代教皇(58歳)
- 11 カクテルにヴォイテワという自分の名前をつけられた教皇
- 12 教皇庁の調理のため、ポーランド人修道女三人を招いた初の教皇
- 13 コンクラーベ(教皇選挙会)に行く時ポケットに十ドル(二千二百円)しか持たなかった初の教皇(ポーランドからは、十ドル以上持ち出し禁止)
- 14 米ハーバード大学で講演し、親しい友人を米国に持つ初の教皇
- 15 教会を建設するため、自ら河原から砂利を運んだ初の教皇
- 16 就任式にポーランドの共産党の代表者を出席させた初の教皇

おらが教会

(5)



仙台教区の最南端で、東北の湘南、と言われるほど温暖な気候に恵まれ、勿来の関と海水浴場で知られた景境の広域な町、いわき市勿来のおらが教会は、白い壁と青い屋根の建物が緑の木立に囲まれて建っています。

歴史 浜通りの開拓者と言われたドミニコ会の故ダビオ師によって、昭和37年3月、湯本教会の巡回伝導所として畑の中にぽつんと創立され、38年4月に付属聖心幼稚園が開設し、40年12月には、現代的な聖堂、守護の聖人・ヨゼフ教会の建堂式が行われました。42年6月ダビオ師帰天後、ラマール師に引き継がれ、着実な歩みを続けて参りましたが、同師も55年2月病氣療養のため一時帰国され、現在は小名浜教会のモレン師が激務を割いて兼務されています。

活動 信徒20世帯。平常のミサ出席者数は10名ぐらいです。この教会の特徴は、信徒数の少ない理由もあるでしょうが、喜びも悲しみも我がことのように分かち合い、不変のときなど家族総出で助け合い、輸血の問題な

ど起きると、どの家庭にも必ず電話がかかるほど家族的な深い連帯感があることと、21世紀を背負ってくれるこどもの多いことが挙げられます。

それと、教会が地域社会に密着していることです。これには付属幼稚園の父母の会の皆さんに負うところが大きいのですが、広範囲から園児二三〇名が通園しており、幼児をのびのびと保育してくれる幼稚園としての評価も上々です。特に、交通安全運動は教師、父母、園児と市関係団体が一体となり、大きな成果をあげ、市のモデル園ともなっています。各行事も、信徒と父母の会が協力し合って活動しており、先日、勿来市民会館で行われたマザー・テレサ映画会などは、地域団体の協賛も得て、入場券の売り上げが一、〇〇〇枚にも達し盛会でした。

*信徒会(アンナ会)は、会長のもとに、聖書の勉強の準備から、教会の諸行事、カナの会や、一粒会のことまで、一切を取り仕切り、お茶、ガレットの販売をし、細々ではあるが利益で目標は祭服の購入と張り切り、又、家庭祭壇も本格的なものは種々の事情から無理としても、十字架とローソク立てならばと、半数の家庭が購入し、親の姿を通して祈る子供に育てようと、願いをこめて準備しました。心身障害者授産場が町に開設されると同時にボランティアとして毎週2日間を福祉活動に捧げ続けている主婦の西田雅子さん等、婦人達の活躍が目立ちます。

*年中行事になっている秋のレクリエーション、

夏のこども達の練成会、ドミニコ会海の家草刈り、教会内外の小修理、大掃除等に信徒も親睦と奉仕に汗を流しています。

*小学生の夏期海浜学校は創立以来ずっと続けられており、親元を離れての二泊三日は、こども達の心身の成長に大きな役割を果たしてきました。受験体制が問題となっている折、今年の夏は、いわき地区教会合同で、中三から高校生までの集いが五浦海の家で開催され、モレン師を中心に聖書の分かち合い、学生のもつ共通の問題の討議等、開放的な雰囲気の中で寝食を共にし、今後も継続していきたいという望みを後輩に託して、自分達のしるしを残した集いでした。

小世帯ですので働きは微々たるものかもしれませんが、一つ一つを積み重ねて、神の使命にこたえようと励んでおります。

(村田 和雄)

司教様の日程

(一月十三日現在)



2月2日 教区司祭団役員会

(於 司教区事務所)

3日 男女修道会上長者合同役員会

(於 東京・中央協議会)

15日 仙塩地区壮年連盟総会

(於 元寺小路教会)

23日~27日 教皇ご訪日随行旅行

3月5日 カトリック医療施設協議会理事会

(於 スペルマン病院)

教区目標

聖書に基づいた

家庭における

子供の

信仰教育

(5)



家庭における子供の信仰教育

八木山教会 新村信雄

家庭における子供の信仰教育は、子を持つ親にとっては勿論、現代の宗教界の大きな関心事の一つです。そのため、多くの議論がなされていますが、真の信仰教育は、それをいかに実践し、そのもとに成長した子供が自分の受けた信仰教育をどう評価するかで最終的には決まるのではないのでしょうか。だから、子供をきちんと成長させた年輩の方の意見こそ大いに参考にされるべきであります。然るに、小生はこの件に関しては現在進行形の子育ての段階であり、小生の教育方針が将来の子供にどのような結果を与えるのか、全く未知であります。諸先輩、そして現在同じ立場に居られる皆様の建設的な御意見をお聞かせ願いたいと存じます。

我が家に信仰教育と強いて呼ぶものがあるなら、それは次の基本方針に従ったものです。一、毎日曜日家族そろってミサに参加する。

しかし、重要と思われる学校の行事や地域の行事には、これを優先して参加する。それは、よき信者はよき社会人であるべきだからです。勿論、どちらにするか、選択を迫られる時が多くあります。この時こそ、親子で大いに議論し、親子の信仰の対話になります。子供が、心に痛みを覚えながら、切り捨てねばならないものがあることを知って欲しいと小生は常に念じています。

二、幼稚園は、それがどんなに遠くともカトリック幼稚園に通わせる。集団生活の中で幼児期の信仰教育は、家庭におけるそれと同等に重要である。

三、家庭においては、親が福音に生きる。信仰教育は、親が行うというよりは、神が子供に対してするものであり、親は、そのための環境づくりに協力することと考える。親が福音に生きているということは、そのような環境を作っていることである。

四、夫婦の一致を心がける。
毎日の生活をこの基本方針で律することは容易なことではない。日常生活で、賢明に選択、実行することを迫られ、痛みを感じながら生きていくこと。この痛みこそ重要で、その痛み故に神に祈る。「どうしたらいいのかわせて下さい」と。その態度を小さい時から少しずつ学ばせ、体得させていきたいと考えています。



今月の23日、教皇ヨハネ・パウロ二世が来日する。この出来事を受けとめる者それぞれに様々な表情がある。そして表情はその言葉の中に表われるらしい。

その一「司牧の最高の責任者」「教会の最高の牧者」「福音の第一の宣教師」である教皇が「わざわざこの国を訪れる」それは「教皇の特別の好意の表われである」と「教皇訪日歓迎メッセージ」を日本カトリック司教団は表明した。(傍点は筆者) その二「ヨハネ・パウロ二世は、「セックス、結婚、人工中絶問題や、聖職者のあり方など、教会内部の問題では、保守的な伝統主義者として知られる」(朝日新聞昭55・12・22)。

今日の日本においては問題を通りこして、日常的になつてしまったセックス・結婚、人工中絶にふれることは言語障害にかかったそれらの似而非主義者からと同様に一流新聞からも保守的・伝統主義とみなされるらしい。

その三「ただただうれしい」とその顔面に喜びの笑みを表わす人々。ふだん、その思いを表明することのないこの人々が、「うれしい」と言う。特別の理由を付すことなしに……。

三つの声を表わしたが、筆者は、口ごもりながらも、「うれしい」と表明する人々の中に、教皇訪日歓迎メッセージの最高の花を視る。さて読者は、いかなる花を添えますか。

(狼河原)

「聖グレゴリオの家」訪問と

高田三郎 講演会(下)

(仙台)教会音楽の集い

まず、高田先生が何度も強調されたことは、聖歌と祈りの関連性についてでした。例えば、答唱詩編を歌う場合、それはもう「ことば」自体が旋律をもっているわけです。先生は、詩編は少数の人に歌ってもらい、他の人は、それを聞いて黙想するのがよいと言っておられました。ここに聖歌隊の一つの存在意義があります。また、各人の心の中の祈り、これはそれぞれ異なるものですが、それが聖歌によって一つの同じ旋律で結ばれるのは、すばらしいということでした。また、ミサにあずかる時に、この点を考慮して、自分の分担を果たしながらあずかることの重要性も、あわせて言っておられました。ところで、聖歌の音楽性が強調される場合、特に装飾的な要素が前面に押し出されてくると、それは事実上ミサを中断することになり、好ましいものではありません。

カトリック聖歌集等について、先生は次のように言っておられます。

「カトリック聖歌集の文語体をわかりやすいことばに直そうという問題に取り組んでいますが、第2公会議以後、その国のことばでミサをたてるようになり、我が国でも、文語体、口語体の二つの形態があるのはご存じのとおりです。これを一つに統一するにしても、それぞれに他方にはない良い点があり、そうす

おしらせ

◎ 聖書のつどい

二年間、共観福音書によってキリストの教えた、たとえ話を共に学んで参りました。が、ヨハネ福音書によって、しめくくりたいと考えています。多数の方々のご出席をお待ちいたしております。

●日時とテーマ

2月15日(日) よい牧者

3月15日(日) ぶどうの木のとえ

●場所 仙台市角五郎二一二十四

聖ドミニコ女子修道院

●時間 午後2時～4時

●対象 高校生以上の男女

●会費 無料

◎ カリタス・ジャパンからのお知らせ

今年も2月から四旬節「愛の運動」が始まります。昨年度は、難民の方々のため多額の援助をいただきました。

今年度は、次のような目的で「愛の運動」を展開します。各教会、各施設の御協力を

~~~~~  
 望ましくありません。しかし、聖歌のことは日本のことばにいい影響を与えてきたのは事実であり、これから先、聖歌が教会内だけにとどまらず、教会外においても広く歌われるようになり、少なからず日本のことばにいい影響を与えるよう私たちは努めなければなりません。」

(石田博幸・三谷 尚)

お願いします。

(1) 海外援助

(2) 国際障害者年にあわせて、国内外の障害のある方々のため。

他に、カリタス・ジャパンでは、次のような活動をしています。皆さまの御協力を続けてお願い致します。

・ベトナム難民の受け入れに協力

現在カトリックの17施設に六七二人の方々が住んでいます。

・医療チームの派遣

去る3月15日に第一陣が発発して以来タイの難民キャンプに、今日まで6チームを派遣、活動しています。

・「友情の箱」の設置

不定期に援助を求められた時のための救済金として、設置しています。現在、ビルマ・カナゾゴン学校建築、フィリピン・パックス・ハイスクール援助に役立っています。(仙台教区担当・本間神父)

【編集後記】

△東北は年末からドカ雪に見舞われました。カトリック界の今年のドカ雪は教皇ご訪日のニュース。超人的な教皇様が日本でのハードスケジュールを無事果たされますよう祈るばかりです。

~~~~~

仙台司教区事務所だより40号

昭和五十六年二月一日発行

発行所 仙台司教区事務所
 980 仙台市本町一丁目2番12号

TEL 0222 22 7371